

# ふくしま情報ステーション

## ○テーマ

情報で「人とまち」、「人と人」をつなぐ場所

## ○機能について

- ①情報発信したい人、情報が欲しい人それぞれの交流場所
- ②自分で探したい人も、話して聞きたい人も情報が手に入る場所
- ③様々な人達が情報交換できる場所

## ○発信する情報について

行政・民間の枠をはずし、来訪者（居住場所にはとらわれない）が「欲しい」と思う情報をできるかぎり提供する。（行政、観光、グルメ、物産、交通、生活、イベント、まちづくりetc）

## ○情報の発信方法について

- ①ベースは、紙情報。旬のものや当日情報は掲示板へ掲出、恒常的な案内などはチラシ、パンフなどを体系別にラックに入れ設置。
- ②情報KIOSKを設置し、見たい情報、欲しい情報をインターネットで見てもらう。
- ③情報の幅を広げるために、情報誌、旅行雑誌、時刻表など求められる情報誌を設置。
- ④視覚に訴えるのが有効な情報（観光・物産ほか）は、モニターでの映像や季節ごとの装飾で提供。

発信される情報を来訪者が的確に得られるよう案内人を設置します

## ○情報収集方法について

- ①商工観光関連団体、市民活動団体と連携を取り、情報を発信していく。
- ②情報が集まってくる仕掛けを作る。
- ③持ち込み、FAX、メールなどでの情報提供を募る。

情報を発信するもの得るもの双方が「得をする」場所となれば、自然と情報量は増えていくはず。統一した見せ方などを検討する。

## ○交流を生み出すために

案内人を交流の「鍵」と位置付け、情報提供者と来訪者をつなげていく。  
来訪者同士が情報交換出来るようにテーブル椅子等を設置する。

## ○行政の運営では提供できる情報に限界があるのでは？

「来訪者のニーズに応じて行く」ことが大切と考え、市民団体等との連携を密にし、市民団体からの提供の形をとりより多岐にわたった情報を提供する。

ex) 中央公民館中央商店女性講座ふMAP委員会（おかみさんMAP）、まちづくりセンター、どうすっぺふくしま参加団体など